



1. 要件定義・変更仕様書セットの特長

(1) 要件定義ガイドの特長

項目	内容
対象作業	▶ 変更依頼受付から要件定義承認まで
特色ある成果物その1 → 「目的・ねらい記述書」	▶ 業務要件とシステム要件を明確に区別し、業務要件の「確定」を先行させる。
特色ある成果物その2 → 「隠れたニーズを引き出すW/S」	▶ 変更依頼を鵜呑みにするのではなく、その背景（目的）を探ることによって初期段階でニーズを出しきる。
特色ある成果物その3 → 「変更点の把握W/S」	▶ システム要件を基に、システムとして変更すべき事項を洩れなく洗い出す
特色ある成果物その4 → 「変更事項確認W/S」	▶ 「変更点の把握W/S」で把握した変更事項を、所定の変更事項一覧表に展開する。

(2) 変更仕様書作成手法の特長

項目	内容
「変更事項確認W/S」から 「変更事項説明書」 (=変更仕様記述様式)の自動生成	▶ 「変更事項確認W/S」の38種の変更事項項目から該当の「変更事項説明書」様式を自動生成する。 ▶ 変更事項の種類は、一般の場合、38種しかないことが判明している。
「変更事項説明書」による、変更事項に対応した変更仕様記述項目の指定	▶ 変更事項説明書には記述すべき変更仕様内容が指定されているので、その指定によって変更仕様を記述すればよい。

(3) 両者の連携の特長

項目	内容
要件定義から変更仕様までの連携	▶ 要件定義の「変更事項確認W/S」から「変更事項説明書」まで連動する。



2. 当セットの利用効果

効果の種類	効果の内容
的確な要求の実現	▶ 要求を表面的に受け止めるのではなく、いわゆる「真意」を探って具体化する。
手戻り・停滞の防止 (=納期短縮・工数削減)	▶ 必要事項の検討を要件定義段階で網羅することと変更仕様作成までの抜け漏れ削減により実現する。
案件の成果品質向上	▶ 要求から変更仕様までの抜け漏れの削減による。
担当の能力向上	▶ 相手の立場(=ビジネスの立場)で検討を行うことによって、業務知識・業務理解力・業務分析力・業務企画力が向上する。
担当の早期習熟	▶ 定型化された業務実施方式により早く一人前になれる。

3. 当セットでご提供するW/Sの適用対象種類

ワークシート名	適用対象種類
目的・ねらい記述書	▶ 情報システム改善 (汎用)
隠れたニーズを引き出すW/S	▶ 汎用
要件定義書	▶ 汎用
変更点の把握W/S	▶ 一般版 ▶ データベース版 ▶ A P I 利用版 ▶ A B A P 版
変更事項確認W/S	▶ 一般版 ▶ データベース版 ▶ オブジェクト指向版 ▶ A P I 利用版 ▶ A B A P 版
変更事項説明書	▶ 一般版 (オブジェクト指向以外向き) ▶ オブジェクト指向版

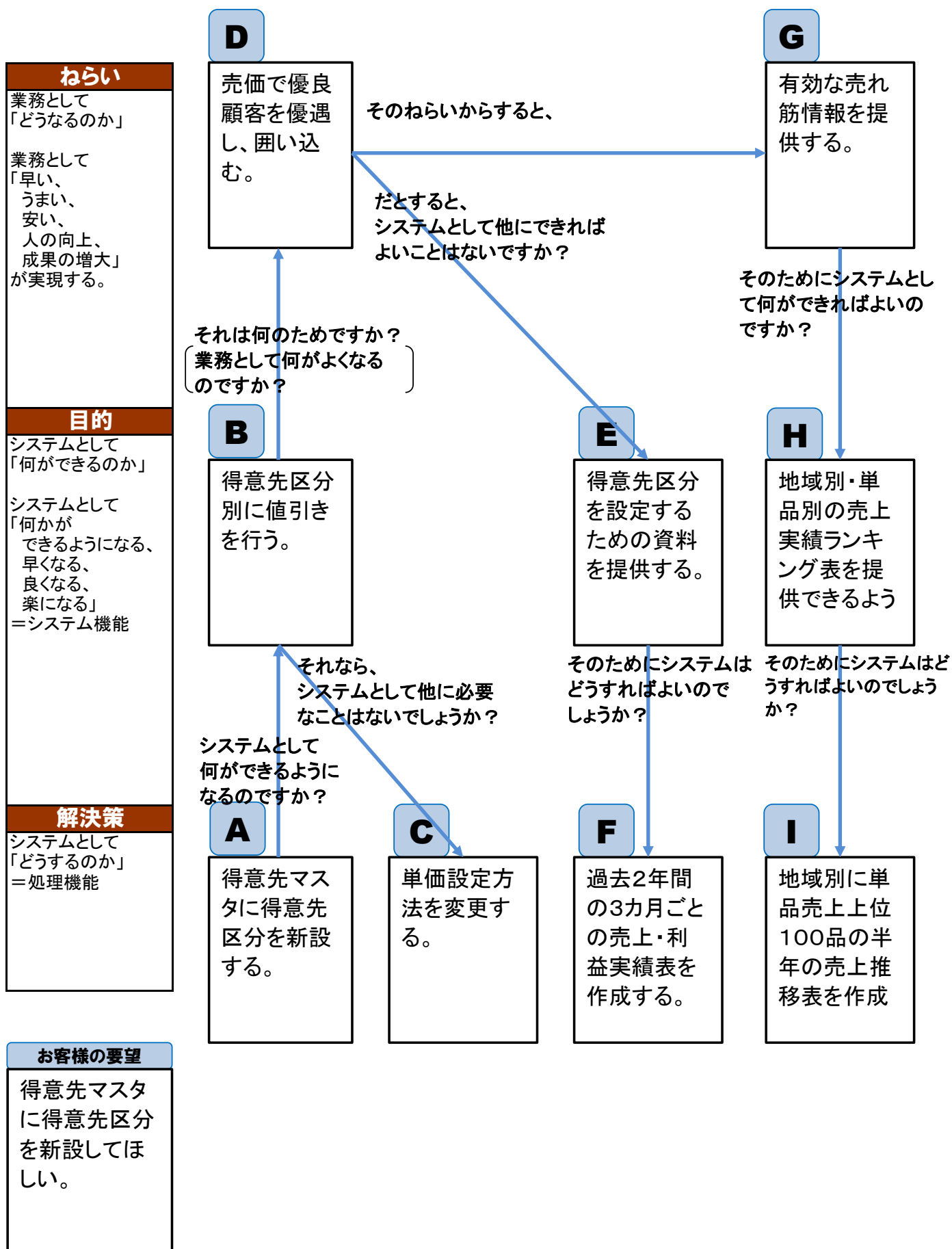
4. 当セットのご提供料金

- ▶ 企業グループでの使用範囲で150万円 (消費税別)

「情報システム改善」目的・ねらい記述書		テーマ 売れ筋情報早期提供	チーム	作成日付	作成者名
目的(システムとして実現すべき条件)		ねらい(業務で実現したい価値目標)			優先度
機能要件		明細			
変更・修正部分	要求内容	<p>早い(業務の迅速化、レスポンスの改善)</p> <p>③売れ筋情報の提供 商品群別に発売後1カ月以内の商品の売上推移を提供する。</p> <p>うまい(業務の品質・精度向上)</p> <p>①重要なお客様に優遇条件で販売する。 Aランク値引率=5%、Bランク2%、Cランク0%</p> <p>②販促対象商品群の月度の売上規模によりリポートを出す。 1億円以上1%、9000万円以上0.9%、~1000万円以上0.1% 得意先別月度売上実績×リポート率=リポート金額</p> <p>安い(業務の省力化・コストダウン)</p> <p>【当事例の解説】 当事例では、当初「ユーザ」は①の案で検討依頼した。この案はかなりのシステム変更を必要とする。そこで検討の結果、比較的影響の小さい②案が対案として出てきた。さらに、「早い切り口ではお客様サービスで何かできることはないか」を検討した結果、③案が出てきた。以下では③のケースで成果物を作成する。</p> <p>人の向上(能力・意欲向上)</p> <p>成果の量の増大 重要なお客様に優遇条件を与えることによって、お客様の囲い込み、売上増大を目指す。</p>			
受注マスタ項目追加	商品マスタの登録日を「商品登録日」として追加する。				A
受注処理(プログラム3本)変更	受注マスタに商品マスタの登録日を「商品登録日」として追加する。				
売上計上処理変更	出荷先マスタから「出荷先郵便番号」を取得する。受注マスタの「商品登録日」と「出荷先郵便番号」を使い新商品売上データを追加生成する。				B
新商品売上データ新規作成	商品群・出荷先地域・商品・出荷日・売上金額の1件別データ。新商品=「商品登録日」が30日以内の商品が対象。				C
新商品売上実績マスタ更新処理 新規作成	新商品売上データを基に、商品群別・出荷先地域別・商品別・日別の合計売上金額データを毎日更新する。				
新商品売上実績データ作成処理 新規作成	新商品売上実績マスタの内容を毎日、データで提供できるようにする。この時点でも登録から30日以内の商品のデータを対象とする。				
非機能要件					
制約条件 無い場合は「特になし」と記入する。					
項目	要求条件	備考(必要性の根拠等)			
納期条件					
コスト条件					
開発費					
運用費					
その他					

隠れたニーズを引き出す ワークシート

隠れたニーズを引き出す ワークシート			
テーマ	得意先マスタの変更【作成例】	作成年月日	作成者



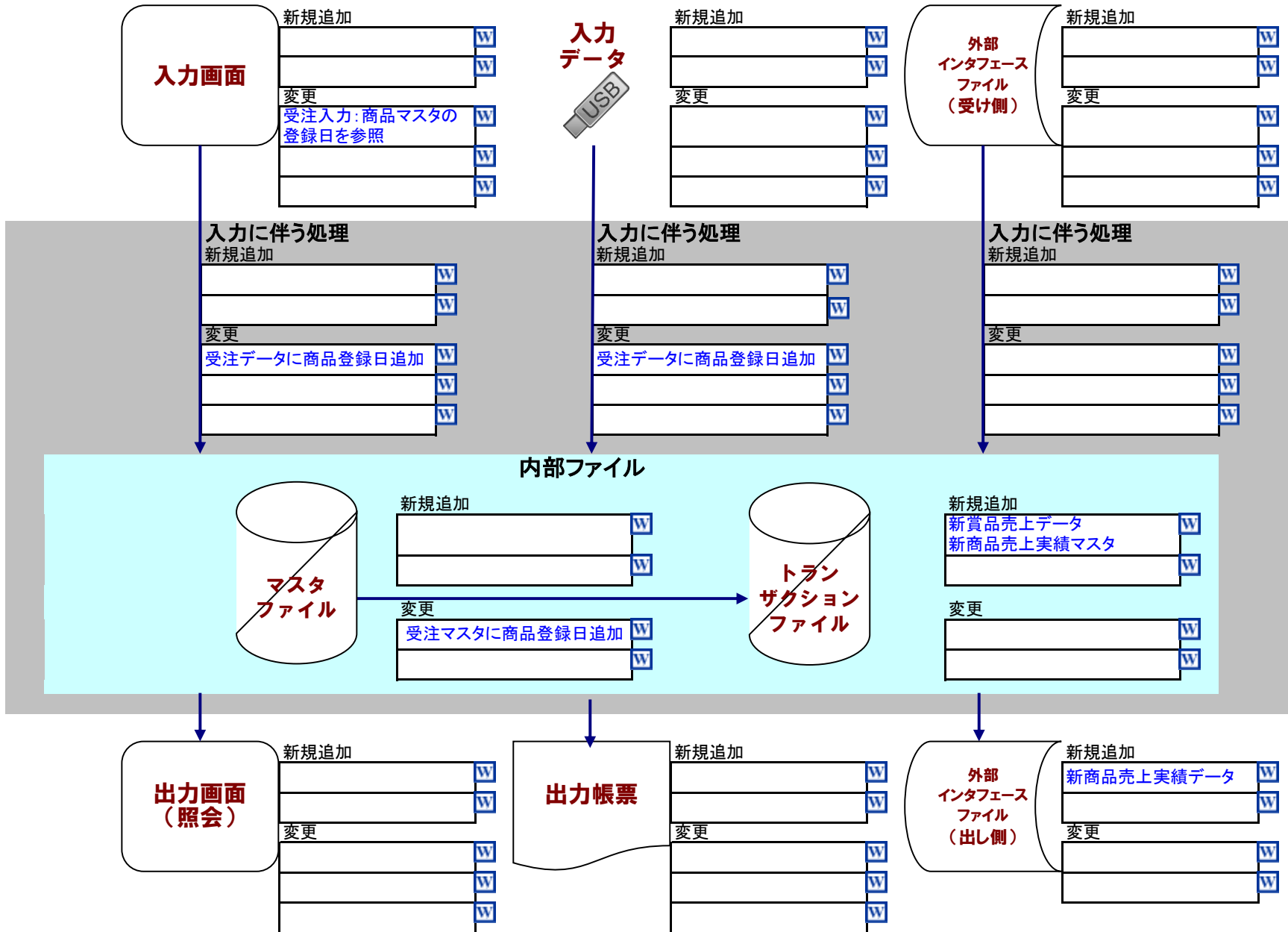
解決策

システムとして「どうするのか」
=処理機能

お客様の要望

得意先マスタに得意先区分を新設してほしい。

様式(作成要領つき)		件名	作成年月日	作成者	02-3
変更点の把握ワークシート	一般版				



変更事項確認ワークシート 一般版(V2.01)		システム名						
案件ID			作成年月日					
案件名			作成者					
#	区分 1	区分 2	変更事項	該当	リンク	影響調査区分	R	確認
1	外部入力	入力画面	入力画面 追加		→			
2	外部入力	入力画面	入力画面 項目追加変更削除	受注入力:商品マスタの商品登録日を保持	→			
3	外部入力	入力画面	入力画面 レイアウト変更		→			
4	外部入力	入力画面	入力画面 入力チェックの追加		→			
5	外部入力	入力画面	入力画面 削除		→			
6	外部入力	入力データ	入力データ 追加		→			
7	外部入力	入力データ	入力データ 項目追加変更削除		→			
8	外部入力	入力データ	入力データ レイアウト変更		→			
9	外部入力	入力データ	入力データ 入力チェックの追加		→			
10	外部入力	入力データ	入力データ 削除		→			
11	外部入力	I/F入力	I/F入力 追加		→			
12	外部入力	I/F入力	I/F入力 項目追加変更削除		→			
13	外部入力	I/F入力	I/F入力 レイアウト変更		→			
14	外部入力	I/F入力	I/F入力 入力チェックの追加		→			
15	外部入力	I/F入力	I/F入力 削除		→			
16	外部入力	入力に伴う処理	入力に伴う処理・生成ファイル追加		→	FC		
17	外部入力	入力に伴う処理	入力に伴う処理・生成ファイルに項目追加変更削除	受注データに商品登録日追加(画面データ分) // 受注データに商品登録日追加(入力データ分)	→	CUD		
18	外部入力	入力に伴う処理	入力に伴う処理の処理条件変更		→			
19	外部入力	入力に伴う処理	入力に伴う処理・生成ファイル中止		→	FD		
20	外部入力	入力に伴う処理	入力に伴う処理・メール送信機能の追加		→			
21	外部出力	画面出力	画面出力・照会・画面追加		→			
22	外部出力	画面出力	画面出力・照会・項目追加変更削除		→			
23	外部出力	画面出力	画面出力・照会・レイアウト変更		→			
24	外部出力	画面出力	画面出力・照会・出力条件変更		→			
25	外部出力	画面出力	画面出力・照会・画面削除		→			
26	外部出力	帳票出力	帳票出力・帳表追加		→			
27	外部出力	帳票出力	帳票出力・項目追加変更削除		→			
28	外部出力	帳票出力	帳票出力・レイアウト変更		→			
29	外部出力	帳票出力	帳票出力・出力条件変更		→			
30	外部出力	帳票出力	帳票出力・画面・帳票削除		→			
31	外部出力	外部ファイル出力	外部出力・生成ファイル追加	新商品売上実績データ	→			
32	外部出力	外部ファイル出力	外部出力・生成ファイルに項目追加変更削除		→			
33	外部出力	外部ファイル出力	外部出力・生成ファイルの生成条件変更		→			
34	外部出力	外部ファイル出力	外部出力・ファイル生成処理中止		→			
35	内部ファイル	ファイル生成処理	ファイル追加・変更	新商品売上データ// 新商品売上実績マスタ	→	FC		
36	内部ファイル	ファイル生成処理	ファイルの項目追加変更削除	受注マスタに商品登録日追加	→	CUD		
37	内部ファイル	ファイル生成処理	ファイル生成条件変更		→			
38	内部ファイル	ファイル生成処理	ファイル生成中止		→	FD		

変更事項説明書 一般版	案件名	作成年月日	作成者
	売れ筋情報早期提供		

No.	区分 1	区分 2	変更事項					
40	内部ファイル	ファイル生成処理	ファイル追加・変更					
	【変更事項内容】 新商品売上データ	【変更事項内容説明】 出荷実績データに基づき新商品売上実績ファイルを生成する。	<p>○＝作成を必要とする。 △＝場合により作成を必要とする。 ×＝画面・データ・ファイルおよびその項目の画面・データ・ファイル定義からの削除を示す。 ＊＝記述・作成するかどうかはそのドキュメント記述の社内ルールに従う。</p>					
No.	記述項目	記述項目記入欄	P概要図	PI/〇一覧	画面定義	ファイル定義	帳票定義	レイアウト
1	対象プログラム名	売上計上処理	○	○				
2	入力ファイル名	出荷実績データ						
3	生成追加・変更ファイル名	新商品売上データ				○		
4	生成ファイル編成方式							
5	参照ファイル名	受注マスタ						
6	ファイル追加・変更生成方法	<p>1. 出荷実績データに基づき、以下の項目構成の新商品売上データを生成する。 商品群・出荷先地域・商品・商品登録日・出荷日別の売上金額</p> <p>2. 商品登録日は受注マスタから参照する。 商品登録日が以下の場合は、新商品売上データを生成しない。 1) 商品登録日がない。2) 商品登録日が8桁でない。 3) 商品登録日が31日以上前</p> <p>3. 出荷先地域は、受注マスタの出荷先を参照し出荷先の郵便番号データを入力し、以下の対応を行う。 1) 郵便番号がない場合は、「出荷先郵便番号なし」のメッセージを出し出荷先地域はblankとする。 2) 郵便番号があり6桁または6桁未満の場合、その上2桁を郵便番号テーブルと照合し、該当あればそれを出荷先地域とする。 3) 上2桁でテーブルに該当がないときは出荷先地域はblankとする。「出荷先郵便番号不正」のメッセージを出す。</p> <p>この処理は毎日行う。</p>						
7	ファイル利用目的	重要なお客様に新商品の売れ筋情報として提供する。						
8	添付(作成済みに○)							